



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年5月15日

上場会社名 株式会社日本オーエー研究所 上場取引所 名
コード番号 5241 URL <https://www.noar.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 奥山 宏昭
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 町野 公彦 (TEL) 03(6261)0287
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)
(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の業績 (2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	783	—	67	—	66	—	43	—
2024年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	53.96	—
2024年12月期第1四半期	—	—

(注1) 当社は2024年12月期第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、2024年12月期第1四半期累計期間の数値及び2025年12月期第1四半期累計期間の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(注2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	1,288	713	55.4
2024年12月期	1,336	685	51.3

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 713百万円 2024年12月期 685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	—	—	18.00	18.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の業績予想 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	1.7	103	△12.1	100	△10.6	65	△11.1	94.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年12月期 1 Q	804,000株	2024年12月期	804,000株
---------------	----------	-----------	----------

② 期末自己株式数

2025年12月期 1 Q	—株	2024年12月期	—株
---------------	----	-----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年12月期 1 Q	804,000株	2024年12月期 1 Q	—株
---------------	----------	---------------	----

(注) 当社は2024年12月期第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、2024年12月期第1四半期累計期間の期中平均株式数については記載しておりません。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、またインバウンド需要の回復のなかで、国内景気は緩やかな回復基調を維持した一方で、物価上昇に伴う日銀の政策金利の上昇や円安傾向が継続するなか、米国大統領の交代に伴う政策の大きな転換が先行きの不透明感を一層深めることとなりました。

当社が事業を展開する情報サービス産業におきましても、前事業年度と同様に、人手不足を背景に企業の抱える課題を解決するための生成AIなどの新しいIT技術、デジタルトランスフォーメーション(DX)やクラウドサービスを用いた既存システムの再構築等の需要を受けて、引き続き高い関心と強い期待が寄せられており、今後も拡大する見通しであります。しかしながら、依然として需要拡大のための資源となるIT人材の確保・供給は追いつかず、市場拡大の障害となる可能性があります。また、これに伴う人材獲得競争の激化や人件費の増加により、収益環境が悪化する可能性もあります。

このような当社を取り巻く環境の中、当第1四半期累計期間は、主力の官公庁に向けた「公共系事業」は、国税関連システムにおいて、前事業年度に佳境を迎えた次世代システム開発において品質向上施策等に対応したこと、また、関連関連システムの分野における体制縮小の影響が小さかったことから、売上は大きく増加しました。一方、「金融・法人系事業」は、前事業年度は「公共系事業」に人材を供給したことにより、売上の確保に苦戦いたしましたが、当第1四半期累計期間は計画通りに推移いたしました。

売上原価については、慢性的な人員不足のなか、「公共系事業」及び「金融系事業」共に契約増加に伴い、技術力がある即戦力の人材を確保するため、ビジネスパートナーの要員確保を行った結果、外注加工費が増加したため売上原価は大きく増加しました。

また、販売費および一般管理費は、上場維持費用・事業税負担を含め、順調に推移しております。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は783,158千円、営業利益は67,963千円、経常利益は66,621千円、四半期純利益は43,380千円となりました。

当社はシステム開発事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（2）当四半期累計期間の財政状態の概況

（流動資産）

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末と比較して43,952千円減少し、1,123,880千円となりました。その主な変動要因は、売上の増加により売掛金が27,805千円、及び契約資産が33,299千円増加した一方、借入金の返済、外注加工費等の支払いに伴い現金及び預金が101,694千円減少したことによるものであります。

（固定資産）

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末と比較して4,263千円減少し、164,206千円となりました。その主な変動要因は、投資有価証券が706千円、及び繰延税金資産が3,112千円減少したことによるものであります。

（流動負債）

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末と比較して42,529千円減少し、414,357千円となりました。その主な変動要因は、未払賞与計上により未払費用が46,588千円増加した一方、外注加工費の減少により買掛金が3,176千円、借入金の返済により1年内返済予定の長期借入金が10,000千円、及び未払金が35,800千円、未払法人税等が24,497千円及び預り金が21,532千円減少したことによるものであります。

（固定負債）

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末と比較して34,000千円減少し、160,000千円となりました。その主な変動要因は、借入金の返済により長期借入金が34,000千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して28,313千円増加し、713,729千円となりました。その主な変動要因は、四半期純利益により43,380千円増加したものの、配当金支払により14,472千円減少したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の通期の業績予想につきましては、2025年2月14日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、当該業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	683,231	581,537
売掛金	457,156	484,962
契約資産	—	33,299
貯蔵品	411	411
前払費用	22,388	22,373
その他	4,645	1,296
流動資産合計	1,167,833	1,123,880
固定資産		
有形固定資産	20,174	19,328
無形固定資産	2,682	2,382
投資その他の資産	145,612	142,495
固定資産合計	168,469	164,206
資産合計	1,336,303	1,288,087
負債の部		
流動負債		
買掛金	117,119	113,943
1年内返済予定の長期借入金	140,000	130,000
未払金	68,219	32,419
未払費用	4,509	51,098
未払法人税等	48,278	23,780
未払消費税等	36,472	42,361
預り金	42,287	20,755
流動負債合計	456,887	414,357
固定負債		
長期借入金	194,000	160,000
固定負債合計	194,000	160,000
負債合計	650,887	574,357
純資産の部		
株主資本		
資本金	120,360	120,360
資本剰余金	30,360	30,360
利益剰余金	526,056	554,964
株主資本合計	676,776	705,684
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,640	8,044
評価・換算差額等合計	8,640	8,044
純資産合計	685,416	713,729
負債純資産合計	1,336,303	1,288,087

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	783,158
売上原価	615,783
売上総利益	167,375
販売費及び一般管理費	99,411
営業利益	67,963
営業外収益	
受取利息及び受取配当金	275
その他	45
営業外収益合計	320
営業外費用	
支払利息	1,662
営業外費用合計	1,662
経常利益	66,621
税引前四半期純利益	66,621
法人税、住民税及び事業税	20,017
法人税等調整額	3,222
法人税等合計	23,240
四半期純利益	43,380

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

当社はシステム開発事業の単一セグメントのため、記載は省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	1,146千円